

証券市場新聞

1 第219号

日経平均株価

2万1142円96銭

▼805円27銭(前日比)

TOPIX

1510.87

▼57.19(前日比)

2020
3/2
月曜日

発行元 株式会社 証券市場新聞社

〒542-0081 大阪市中央区南船場3-7-27 NLC心斎橋ビル6C

TEL 06-6105-1904 FAX 06-7635-7861

marketpress.jp



春のIPOシーズン到来

目玉はサイバーセキュリティ

3月2日のカーブスホールディングス(7085)を皮切りに3月30日のバリオセキユア(4494)まで計25社が新規上場し、春のIPOシーズンが到来する。国内外のマーケットは新型コロナウイルスの感染拡大から波乱となるなか、個人投資家の投資意欲減退の影響をIPO銘柄も受けるかも知れないが、順調な初値形成を形成する成長性の高い銘柄は、中期視野で高い投資効率を得られる可能性がある。注目度の高い銘柄をピックアップしてみた。

中期観点で高い投資効率

でも高値更新を続けている。

多くの新興銘柄で「指数とジャスダック占める東証マザーズ」指数ともに調整を続けているが、その中で、昨年2月28日公開のスマレジ(444)や3月12日公開のフリー(447)は今年に入っ

3月はIPOラッシュ

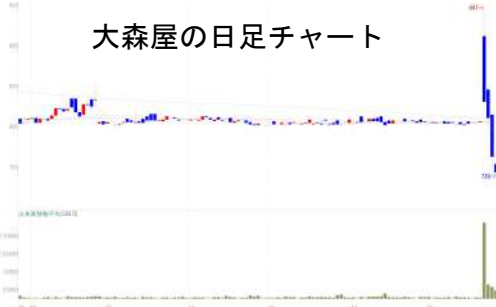
将来性ある銘柄は初値形成後に調整があつても、中期視野ではそこが絶好の買いチャンスになる可能性がある。3月4日にマザーズへ上場するKids Holding(7084)は東京都や神奈川県、愛知県で認可保育所を運営、11日にジャスダック上場でシステム受託を行うコンピューターマネージメント(4491)や19日マザーズ上場でE・C・通販物流支援サービスを行う関通(9236)、26日マザーズ上場でソーシャルアプリ向けサポート、ソーシャルリスティング投稿モニターングやネットいじめ

日経平均日足チャート



対策などのカスタマーリレーション事業を行うアディッシュ(7093)あたりが評価が高い。そして、26日にマザーズ上場のサイバーセキュリティクラウド(4493)は独自開発のAI技術や世界有数のサイバー脅威インテリジェンスを活用した、サイバーセキュリティサービスを開発・提供しており、3月IPOでは最も期待が高く、高初値が期待されている。

大森屋の日足チャート



大森屋急騰し高値

「あおさ」にウイルス抑制効果

河原敏男教授と中部大学大学院工学研究科の林京子客員教授らが、化学薬品メーカーの江南化工、ラムナン研究所などと共同で海藻の「あおさ」にヒトコロナ

連休明け25日、大森屋(2917)が急騰、昨年来高値を更新した。中部大学生命健康科学部の河原敏男教授と中

今週の動意銘柄

ウイルスの抗体を増やす効果があることを発表したことを受け、海苔製品専門メーカーの同社に思惑買いが向かった。あおさに含まれるラムナン硫酸を培養したウイルスに接触させたところ、高い抗ウイルス活性を示した。

富士フコナ治療活用

25日、富士フィルム(4901)が急伸。政府が「アビガン」を新型コロナウイルスの治療に活用する考えを示した。タミフルなど既存の

公開価格61%上回る

AHCGの初値 25日、AHCGグループ(7083)が東証マザーズに新規上場、公開価格2000円を61.3%上回る3553円で初値が生まれた。同社は障害福祉や介護、外食事業などを

サマンサ最安値

25日、サマンサタバサジャパンリミテッド(7829)が急落、上場来安値を更新した。20年2月期連結業績を下方修正、営業損益を2億2000万円の黒字から11億4300万円の赤字(前期6億400万円の黒字)と赤字転落を見込み、年間配当100円を無配(前期100円)とした。一方、株主優待制度を拡充し、割引券を贈呈するが、反応は限定的。

鉱業株下落率トップ

26日、国際石油開発帝石(1605)、石油資源(1662)をはじめ資源関連が大幅下落、業種別騰落率で鉱業は下落率トップとなった。新型コロナウイルスの世界規模での感染拡大に伴う石油需要

減退への警戒感から、25日のWTI原油先物価格が終値で前日比1ドル53セント安の1バレル149ドル90セントと50ドル台割れまで急落、米株市場でシェブロンなどエネルギー

キヨーリンが急伸

26日、キヨーリン製薬(4569)が急伸。NHKが衆院予算委員会分科会で、産業技術総合研究所開発の技術による機器でコロナウイル

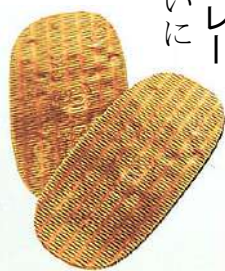
正直いいさんの株で大判小判

28日の東京市場は大幅に5日続落となり、後場には2万1000円割れとなりまりました。新型コロナウイルスの世界的感染拡大への警戒感が強まり、前日のNYダウが過去最大の下げ幅を記録したことがりたことか場面はあり中国株安にりが売りを依然としの、各指標平均の一株考慮すればここしいと見ていま反発に転じる可安易なショート週末は感染対策(65)と収益倍増のメドレー(4480)への追撃買いにとどめましたが、週明けからは下げ渋りから切り返す銘柄を狙いたい考えです。

花咲翁

株純資産2万700円意識

株主純資産2万700円をからの売り仕掛けは難す。きつかけ次第で急は避けるべきでしょう。関連のニイタカ(44



空運旅客減と需給悪

26日、JAL(9201)、ANA

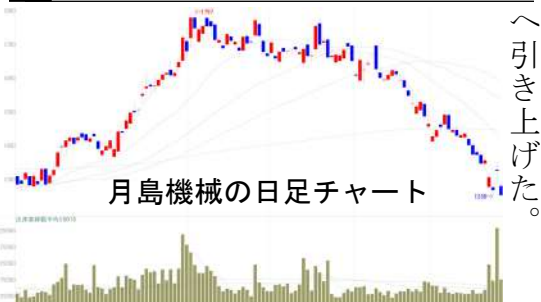
Aホールディングス(9202)など空運株の下げがきつい。新型コロナウイルスの世界的な感染拡大で旅客数が急減、収益懸念から売りがかさんだ。押し目買いに信用買い残が積み上がり、需給も重荷。

月島機械が急反発

受注豊富で20年3月期増額

27日、月島機械(6332)が急反発。

20年3月期の業績予想について、連結売上高で900億円から1000億円(前期比2.3%増)、営業利益で60億円から70億円(同10.2%減)へ上方修正した。豊富な受注残を消化、期末配当も11円から13円(前年同期14円)



アルーはストップ高

27日、アルー(7043)がストップ高。世界最大級の人事・組織コンサルティング会社、マザーの日本法人のマーサージャパンとグローバル人材育成で業務提携すると発表したことが材料視された。同社のグローバル人材育成の実績や英語・異文化教育ソリューション開発力とマーサージャパンの組織・人事領域の幅広いコンサルティングに関する知見を融合、特に英語・異文化教育ソリューション

炭素繊維総合力をPR

東レ

世界最大コンポジット展に出展

企業レター

東レ(3402)は3月5日から5日までフランス・パリで開催される世界最大規模のコンポジット展示会「JEC World 2020」に出展する。今回は欧州炭素繊維複合材料事業グループ5社が初めて共同ブースを設け、「東レグループの総合力とお客様との協業により、新しい価値と持続可能な未来の創造に貢献する」をテーマに、モビリティ、エネルギー、ライフクオリティ&セイフティの3分野で重要な役割を果たす炭素繊維複合材料製品や技術を紹介。持続可能な社会の実現を目指し「リサイクル」の

日取り組みも展示する。モビリティでは航空機用難燃インテリアシートやエアモビリティモデル、自動車構造部品、エネルギーは風力発電ブレード用ラージ層炭素繊維や燃料電池用ガス散層基材、燃料電池向け圧縮水素ガスタンク、ライフクオリティ&セイフティでは競技用ヨット部材や自転車などスポーツ用途に加え、軽量車椅子用スロープ、足の矯正治療用シューズ中敷きなどの介護・医療用製品を展示する。グループによる垂直統合型オペレーションでユーザーニーズに的確に答える総合力をPRする方針。

ペッパー74店舗閉店

27日、ペッパーフードサービス(3053)が大幅安で連日の安値更新。年内に「いきなり!ステーキ」業態で74店舗を閉店することを明らかにした。収益再建を図るが、出店は2店舗にとどまり、店舗数が急減することから、大幅減収が予想され、退店コスト

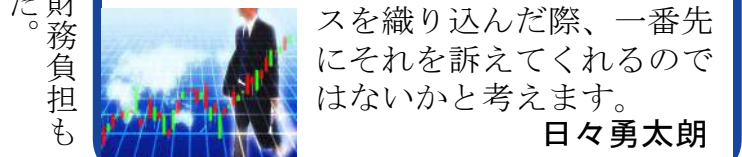
医学生は感染検査薬

27日、医学生物研究所(4557)が急伸。新型コロナウイルス感染症の検査薬開発に着手したと発表した。同社とグループ企業のG&Gサイエンスの遺伝子検査試薬開発技術により汎用機器で測定ができ、検体処理能力の高いリアルタイムPCR試薬を短期間で開発、供給

全般底入れの指標株

2月相場が終わりましたが、散々な月となってしまいました。新型コロナウイルスの感染拡大を受け、世界各国でリスクオフによる急落となりました。27日段階でNYダウは最高値から約13%の下落となり、弱気相場入りのシグナルが点灯。東京市場も下値支持線を次々と割り込み、昨年8月以降の上昇相場にピリオドが打たれました。

ただ、様々なテクニカル指標は売られ過ぎシグナルを発しており、投げ売りが一巡すれば値幅を伴ったリバウンドが起るものと思われます。しばし戻り売り相場となりますが、突っ込み過ぎの相場のリバウンド狙いのタイミング待ちです。指標としてANA(9202)に注目です。先週末は安寄りから一時プラス転換する場面がありました。相場がコロナウイルスを織り込んだ際、一番先にそれを訴えてくれるのではないかと考えます。



ハリマ化成G (4410)

木質原料開発着々と リグニンでインキ用樹脂開発

ベルギー子会社ローター社カロ研究室とルーヴァン・カトリック大学(ルーヴァン・フランデレン州)との産学共同研究の成果で、同大学がリ



科学雑誌サイエンス

ハリマ化成グループ(4410)は「自然の恵みをくらしに活かす」の基本理念に沿って、環境にやさしい木質バイオマス技術の研究開発を着々と進めている。

科学雑誌サイエンス誌に2月13日(日本時間2月14日)付けでオンライン掲載された「リグニンオイル」に関する研究論文はその一つ。木材から採れるリグニンをオイルへ変換、このリグニンオイルを活用したインキ用樹脂を開発し、顔料分散性や定着性など、石油由来製品に遜色のない性能を実証したことが紹介された。

グニンをオイルへ効率的に変換する技術を確立。同研究室がインキ用樹脂を開発しており、マールテン・メーセン研究員と出向中のハリマ化成の松島広典研究員が研究に参加している。

リグニンは複雑な分岐構造とほとんどの溶剤に解けないことから用途が限られ、パルプ製造行程ではほとんどが重油の代替燃料に使われてきた。ただ、CO2削減に貢献できる植物由来原料であるうえ、松材の場合、含まれるリグニンの量はロジンの2%以下に対して約30%とはるかに多い。まだ研究開発段階で実用化へは製造コストの引き下げが必要だが、リグニンの原料利用は原料調達の安定化と資源の有効利用につながる。今後、インキ用樹脂以外への研究開発も進めていく構えだ。

原料調達安定と有効利用

特選銘柄



ライクキッズの足チャート

柄が値を飛ばした。安倍首相が公立小高と特別支援学校に3月2日から春休みまでの臨時休校を要請したこと、オンライン学習

保育学童関連賑う

一斉休校要請で思惑買い

8日、週末2
イクキッ
ズ(6)や
6(5)ネ
すら(3)
ット(3)
9(8)、
チエル
(3)の保
育所、学
童関連銘

今週の動意銘柄

28日、マナック(4364)が一時ストップ高。同社の除菌ウイルスに動物コロナウイルスの一

マナック一時S高
28日、マナック(4364)が一時ストップ高。同社の除菌ウイルスに動物コロナウイルスの一

マクドナルド売上不安
28日、日本マクドナルドホールディングス(2702)が連日の急落で安値。政府による大規模イベントの中止や学校の休校要請、テレワークの導入を受けて、多くの人が巣ごもり状態になるなかで、2月の月次売上高の急減への不安が高まっている。

感染で出前にも思惑
28日、出前館(2484)やライ

28日、パーク24(4666)が大幅に10日続落。20年10月期第1四半期の連結決算は、経常利益47億5600万円(前年同期比10.5%減)と2ヶタ減益で、コンセンサスを下回ったことが嫌気された。

パーク24は10日続落
28日、パーク24(4666)が大幅に10日続落。20年10月期第1四半期の連結決算は、経常利益47億5600万円(前年同期比10.5%減)と2ヶタ減益で、コンセンサスを下回ったことが嫌気された。

へのニーズが高まる。この思惑買いを誘った。新型コロナウイルスのまん延を防ぐ狙いで強制ではないが、受け入れられる学校は多いと考えられる。
ドオンエクスプレス(6082)が大幅高。新型コロナウイルス感染対策で大手企業を中心に在宅勤務が広がりに、政府が全国の小中高の休校を要請したこと、出前の需要が増えるとの思惑から買いを集めた。

潮流

中国株は逆行高続く

日本政府は大胆な経済対策を!!

marKet/bAnk

行高が続いている。特に新興企業が集まる「創業板」指数は2月25日に約3年10カ月ぶりの高値を付けた。

新型コロナウイルスの感染拡大を警戒して春節（旧正月）の連休明け後に急落した2月3日からは23%高い。中国政府が新型コロナウイルスに対応して景気対策を総動員するとみられ、目先の景気減速よりもその後の回復を期待している。ITやバイオ・医薬関連銘柄に対する根強い成長期待を背景に投資資金が流入している。創業板は新型コロナウイルスの拡大で思惑買いが入りやすい銘柄が多い。時価総額の4分の1近くを占める50銘柄で構成する「創業板50」指数は、ハイテクや医薬関連株が構成銘柄の9割。このうちバイオ・医薬が3割近くを占める。ただ、中国株式相場の堅調さは「流動性相場」となってきた危うさと表裏一体でもある。

中国人民銀行（中央銀行）は春節連休明け後、1兆2000億元（6兆2000億円）の資金供給や最優遇貸出金利（ローンプライムレート、LPR）の追加利下げを実施。企業の資金繰りを支える狙いだが、多くの企業は生産活動を再開していないため、あふれた資金は行き場がな

く株式市場に向かっているという。反面、日本政府は具体的な経済対策を何一つ発表していない。その間、ヘッジファンドは日本株を標的に売りを仕掛けている。株価指数先物を用いて急落させることが簡単に出

来る日本市場がヘッジファンドにとって稼ぎ場となっている。ただ、既に日経平均の5日移動平均騰落レシオが32%、25日が62%まで低下。過熱感が高まっていた米国ダウ平均の5日移動平均騰落レシオも21%、25日が75%まで下がった。日本は明らかに売られ過ぎの水準だ。

日本政府も来週には経済対策を発表するだろう。政府が大規模な財政出動を伴った経済対策を打ち出すことができれば、下げた分以上に株価上昇が見込める。香港政府は18歳以上の市民1人あたり1万香港ドル（約14万円）の現金支給を柱とする総額1200億香港ドルの経済対策を打ち出した。個人消費を支えるためだ。日本政府も香港や中国を見習って、個人消費を喚起する対策を打ち出すことが最重要である。

潮流銘柄はメドレー（4480）、ポエック（9264）、ブロッコリー（2706）。

から優勝。直近では2017年1月に始まった夕刊フジ主催の「株・1グランプリ」において優勝。1カ月間における3銘柄の合計パフォーマンスでは155%と断トツの結果。週刊現代、週刊ポスト、夕刊フジ、ネットマネー、月刊カレントなど幅広く執筆活動を行う。現在、個人投資家に投資情報サービスを行う。http://marketbank.jp



岡山 憲史氏（株式会
社マーケットバンク代
表取締役）のプロフイ
ール

1999年2月日本初の資産運用コンテスト「第一回S1グランプリ」にて約1万人の参加者の中

明らかに売られすぎの水準

ポエックの日足チャート

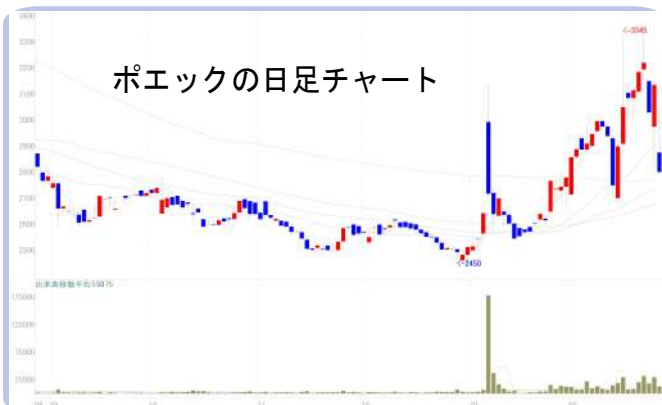
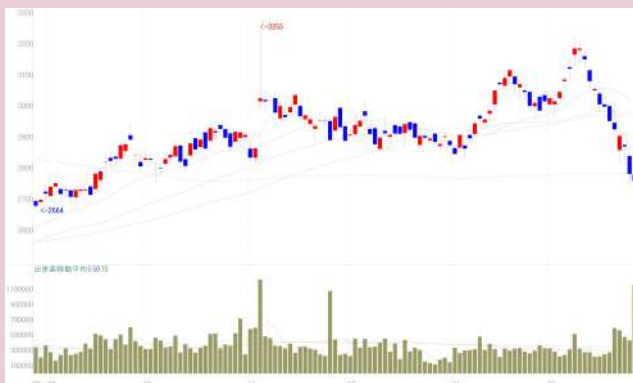


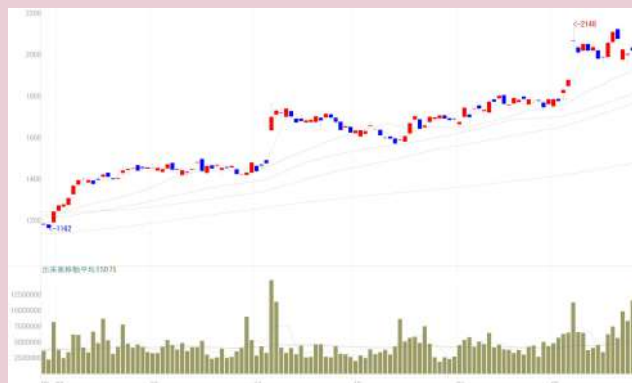
チャート から読む 騰落銘柄

ベネッセHD(9783)



2月10日高値3225円から長らく調整していたが、27日に200日線割れとなる2741円示現後は底打ちの気配。政府の休校要請を受けて「進研ゼミ」で通信教育最大手の同社に注目集まる。

オリンパス(7733)



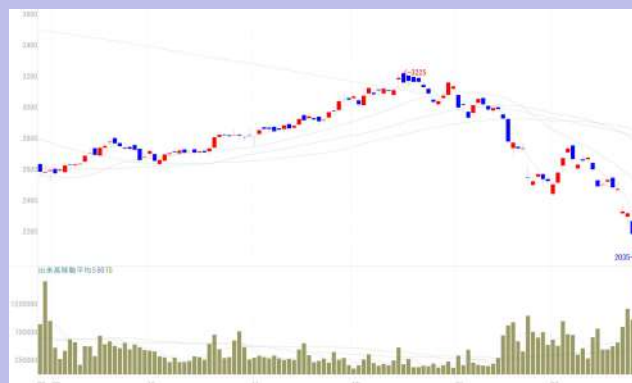
全般急落地合いで反落ながら25日線レベルで下げ渋る。今3月期は営業利益3.2倍と収益V字型回復の見込み。信用倍率0.40倍、貸借倍率0.10で買戻しも株価を押し上げ、高値奪回から一段高へ。

京阪HD(9045)



新型コロナ感染拡大によるインバウンド需要急減で連日安値更新。全般的な自粛に絡んでUSJ前に構える2件のホテルの宿泊減も懸念されており、業績悪化から4000円割れも視野に入りそうだ。

HIS(9603)



戻り試すも25日線に跳ね返されるかたちで下値模索。連日の安値更新で、週足も再び陰転へ。新型肺炎感染拡大による旅行需要減退で収益懸念が強く、大勢下降トレンドのなか一段安も。



敏腕先物ディーラー

ハチロクの裏話

ハチロクのプロフィール
証券アナリストから証券会社

の法人部長を経て、225先物オプションディーラーに転身。アナリスト時代に培ったテクニカルやファンダメンタルズなどの分析力を駆使、リーマンショックなどの暴落時も乗り越えて西日本における225先物オプションディーラーとしてはトップクラスの運用実績を誇る。



NYダウは歴史的な下げを記録
(ニューヨーク証券取引所)

60カ月移動平均守れるか!?

「落ちてるな イフは掴むな」

先週の日経平均は週間でマイナス2243円(▼9.6%)と2008年10月のリーマンショック以来の下げ幅となった。27日にはNYダウも1190ドル安と過去最大の下げ幅を記録、世界中で株価暴落の週となった。コロナウイルス

の感染が全大陸に広がったことが要因であるが、特にイタリヤやイランなど欧州や中東に感染者が急拡大したことが大きく影響しているだろう。

以前にもこの欄で指摘したがVIX指数の売り玉が異常なほど溜まっていたので、この下げで一気に買戻しを余儀

なくされ、指数は木曜日現在で45.01ポイントまで上昇してきている。25ポイントを超えてくるとポートフォリオの比率を株から債券にシフトするといわれているが、そのリバランスの売りも下落に拍車をかけたと思われる。

ボラティティが急上昇しているから、残存2週間の3月物プット150のプレミアムが水曜日1円だったのが金曜日には50円と50倍になるなど異様な展開となっている。ちなみに過去最高のVIX指数の数値は2008年のリーマンショック時の89.53ポイント。金融システムが破綻した当時とはショックの規模は違うが、ウイルスの拡大は世界経済に大きなダメージを与えるので油断はできない。「落ちてくるナイフをつかむ」暴落の時にいつも言われることだ。まずは下値を見極めることが大事である。チャ

日経225先物日足チャート



ート破りの状態ではあるが、下値メドは連結PBR1倍の2万700円処、月足一目均衡表の雲の上限2万566円、最も重要な60カ月移動平均の2万255円を守れるかというところだろう。アベノミクス相場が始まった13年1月から割ったことのない移動平均線であり、長期上昇トレンドの最後の抵抗ラインである。この水準を割ることになれば中期的には2018年12月の安値(1万8948.58円)を試す動きになると思われる。今週は2万250円から2万1900円を予想する。あや戻しには十分注意したい。(ハチロク)

